

JR東海労なごや

2022年5月 3日No.1200
JR東海労名古屋地方本部
発行者： 荻野隆一
編集者： 教宣部

ぼんやりしていると、音もなく戦争が近づいてくる!

JR総連沖縄平和研修報告集会

戦争は、平和な時でしか語れない

4/9～11日の日程でJR総連沖縄平和研修が開催されました。

名古屋地本から松山文成さんが参加しました。沖縄で感じたこと、平和への思いを共有すべく集会を金山「ワークライフプラザれある」で開催しました。



冒頭、荻野地本委員長から報告会に先立ち沖縄を訪れる意義や、更にはウクライナ情勢をうけ憲法改悪、敵基地攻撃や核の共有まで叫ばれている、今こそ戦争の悲惨さをしっかり学ばなければならない。と挨拶をう

け、松山さんの報告に移りました。

思っていた以上に悲惨な沖縄戦

主な訪問地は辺野古埋め立て地、普天間基地の見える嘉数高台公園、軍事司令部壕跡、ひめゆり平和記念館、魂魄の塔、県立平和記念公園 平和の礎、糸数アブラチガマ、旧海軍司令部壕、などを巡りました。戦跡や沖縄の基地の現状を目の当たりにして、再び戦争をくりかえさないために学習したことを広げていく決意を強くしたと話しました。

沖縄の過去を語る方たちが高齢になり、自分たちが語り継が無ければいけないと思いを述べました。また「住宅地の真ん中にある普天間基地や、沖縄県民の多くの反対を押し切って進められている辺野古の埋め立て地など、ここ沖縄では戦争は過去のもでなく今現在も進行している、ですから声を上げていかなければいけない」「ぼんやりしては大変なことになってしまう。ぼんやりしては駄目だ!」と強く訴えました。

参加された組合員から感想などもらい集会を終えました。